

## ～ご挨拶～

社団法人「日本国際知的財産保護協会」は、知的財産の国際的動向を調査研究し、斯界の国際交流を進め、知的財産の国際的な発展に寄与することを目的とする団体であります。そして企業関係者、弁理士、弁護士、大学・研究機関の研究者等の幅広い階層の知的財産に携わる専門家や実務者を会員とし、また、国際的なネットワークを持っていることが特色です。

本協会は、1956年にAIPPI（国際知的財産保護協会）の日本部会を母体として設立され、国内および海外の知的財産制度の動向に関する調査・研究を行うとともに、国際的な知的財産保護の向上と発展に資するため、AIPPIが推進している各国制度の調和を図る具体的な提言活動に積極的に貢献してきました。さらに、海外の知的財産の動向を紹介するとともに、国内外の実務者の交流を積極的に進めてまいりました。

ボーダレス経済の進展に伴って、世界の貿易、投資活動は急速に拡大し、国境を越えた水平分業も深化しています。さらに、各国は、競争力を確保するためイノベーションの創出を競っています。そして、商品や技術を差別化でき、競争力の源泉として、知的財産の重要性は著しく高まり、世界的な視野に立った戦略的な知的財産のマネージメントが課題となってきています。本協会は、こうした状況に即応し、我が国の知財力を高めるべく、世界の最新の知的財産事情を紹介するとともに海外諸団体との交流をさらに深め、また、会員相互の交流を活発化させていく所存であります。

本協会の活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社団法人日本国際知的財産保護協会  
理事長 熊倉 禎男

